

白河市立大信中学校だより



三年先の稽古

令和6年10月23日

第33号

発行責任者：校長 亀田征利

教育目標
～ 夢を求め、健やかに
温かい生徒の育成 ～

たくましく健やかな生徒
いのちを尊ぶ温かな生徒
真実と夢を追求する生徒

第40回聖流祭 ご来校、ありがとうございました

聖流祭開催に当たって企画運営に携わった生徒会役員、聖流祭実行委員のみなさんに心より感謝します。そして、全校生のみなさん、様々な準備、練習、本当によく頑張りました。前日の清掃も素晴らしかったです。丁寧な清掃は大信中が誇れることのひとつです。

今年度の聖流祭は大信中学校にとって40回目となります。私は、大信中の学び舎で多感な時期を過ごされたみなさまのことや、大信中学校の歴史・伝統について思いを巡らせながら生徒たちの発表・展示を見させて頂きました。そして、全ての生徒が心を通わせ、今年度のテーマである、「煌(きらめく)～学年をこえた絆楽なつながり～」の実現に向け取り組み、良い思い出となることを願いました。

保護者、地域の方々にはお忙しい中にもかかわらず多数来校していただき、ありがとうございました。生徒たちはみなさまのパワーをいただき、その期待に応えるよう頑張ることができました。これから生徒たちは切り替えをうまく行い、さらに学力向上を図りたいと考えています。これからもよろしくお願いいたします。



写真

左：全校生

左下：特設合唱

中央：3年合唱

右下：3年指揮





<PTA会長：杉本様>



<見守る青木主任>



<特設合唱>



<少年主張・英語弁論>



<合唱前の3年生>



<学級紹介>



<1年発表>



<2年発表>



<3年発表>



<3年発表>



<生徒会と実行委員：オープニング>



<有志発表>



左上・左下：表彰式



下：学級旗前で写真撮影



口・目・耳・手足・心の使い方

5月28日（月）全校朝会の話

今日は皆さんに腰塚勇人（こしづかはやと）さんという方の話をします。

腰塚勇人さんは、中学校の先生をしていたある日、スキーの事故で首の骨を折る大怪我をしました。幸い手術により一命は取りとめますが、1週間経っても首から下はまったく動きませんでした。担当の医師から「一生寝たきりか、車いすの生活になるでしょう」と宣告された腰塚さんは、毎日死ぬことばかり考えていたそうです。

そんな腰塚さんに生きる勇気と元気を与えてくれたのは、周りの方々の温かい応援と励ましでした。「何があってもずっと一緒にいるから」と言ってくれる奥さん、「代われるものなら代わってあげたい」というお母さん、「先生、待っているから」と回復を信じ激励してくれる仲間と生徒たちがいました。腰塚さんはこういう方々の深い愛情に包まれながら、「これからは、いつも笑顔で、どんなことにも『ありがとう』を言おう」と誓います。その後、厳しい困難なりハビリに取り組んだ結果、ついに4ヶ月後、現場復帰を果たすまでに回復しました。

現場復帰にあたって、腰塚さんは次の「5つの誓い」を立てました。

- 口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- 目は人の良いところを見るために使おう
- 耳は人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう
- 手足は人を助けるために使おう
- 心は人の痛みがわかるために使おう

皆さんも、この「口・目・耳・手足・心」の使い方を心に刻んで、周りの人たちへ思いやりの心をもって行動することを願っています。特に口から入るもの（食物）と出るもの（言葉）には注意したいと考えております。



<左上：3年生、左下：石井先生、上：特設合唱>



聖流祭実行委員長 **小松 天芽**
 <コロナ禍を乗り越え>

生徒会長 **金子 嶺**
 <最高の聖流祭に>

テーマ案 **大竹 悠翔**
 <困難を乗り越えた先の景色>

ビッグアート原案 **星 虎太郎**

ポスター原案 **大竹 悠翔**



校内バレーボール大会

10月24日(火)、校内バレーボール大会が全学級総当たり戦で行われました。クラスが一丸となり、優勝目指して声をかけ合う姿はとても素晴らしかったです。1年生は、なんとか先輩に勝利しようと全員で応援、点数が入れば全員で大喜び、クラスの団結を深めました。2年生は、学年のまとまりがよく、運動を得意とする生徒がうまくクラスをリードしながら、それぞれの持ち味を引き出しました。昨年度からの大きな成長が頼もしかったです。3年生は、ナイスプレーが数多く見られました。とにかく全力投球。大きな雄叫びも3年生ならではの。生徒は同じ目標に向かって一緒にプレーすることで互いに、より分かり合うことができたことと思います。全員が笑顔、笑顔のバレーボール大会でした。

